

# 極真館カラテ



## 三浦由芽ちゃん・柊仁君 兄妹

みうら・とうじ 桜山小学校 5年生。緑帯 3級。趣味はゲーム。将来の夢は型専門の空手の先生と料理人  
みうら・ゆめ 桜山小学校 2年生。水色帯 8級。趣味は外遊び。将来の夢は美容師

「オッス！」元気な声が武道場に響き渡ります。30人以上が切磋琢磨する中で、ひとときわ熱心に稽古に取り組む兄妹がいます。兄・三浦柊仁君、妹・三浦由芽ちゃんです。

ことし5月に行われた全日本青少年空手道選手権大会・型の部で、柊仁君は8位、由芽ちゃんは優勝と、兄妹で優秀な成績を修めました。

大会を振り返り、柊仁君は「よい結果は出たけれど、満足はしていません。来年こそは優勝できるように稽古を頑張ります」と向上心でいっぱいです。今でこそ、何事にも積極的な二人ですが、空手を始めた頃はとても内気だったと母・由紀さんは言います。「子どもに空手を習わせようと思ったのは、礼儀を重んじられる精神面の強い子になってほしかったから。今では度胸もつき、人前で発表したり、自分たちだけで合宿に行ったりと、ずいぶん成長しました」。

週に2回の武道場での稽古

以外にも家で自主練習に励む二人。空手経験のある父・清仁さんとの組み手や兄妹での型の練習を毎日行っています。

兄妹を指導する田添先生は「二人は気持ちが真面目。練習を精一杯こなして、他の子にもいい刺激を与えてくれていきます。これからは柊仁君には足りない部分を自分で考え、みんなを引っ張ってほしい。由芽ちゃんは素直なまま少しづつ成長してほしいですね」。

ことし6月、西日本一を競う全山陰空手道選手権大会・型の部で、柊仁君は3位、由芽ちゃんは2位という成績を残しました。「由芽は結果に悔しがついていました。闘争心が芽生えたようで親も驚いています。柊仁はやつといい結果を出せました。今まで悔しい思いをしていたはずですが、由芽の強さは柊仁のおかげ。ずっとひたむきに努力する兄の背中を見てきましたから」と由紀さん。

「自分で納得いく動きができたときが一番うれしい」と口をそろえる兄妹のさらなる成長から目が離せません。



1 稽古中の兄妹。二人の得意技は上段回し蹴りです 2 道場の仲間たちと。一列目中央が兄妹。左端が田添先生 3 三浦三兄妹。いつも末の妹・葵凛ちゃんと一緒に遊んでいます